初・中級者用マージャン講座（その６）

――振り込まないためには――

初心者が、ベテランの人と打っていて解からないのは、ベテランの人の危険牌の察知力です。

リーチをかけられて、どの牌を捨てたらいいのか判らない、ということはよく遭遇します。どう対処していくようにしたらいいのでしょうか。

① 基本の第一は、事前に危険牌を安全牌に切り換えてくように心掛けることです

イーシャンテンのとき、安全牌を持ってきたら、最後の捨て牌用として、その牌に切り換えておくことです。

安全牌とは、自分の手作りにはいらないが、他の人も要らないであろうと思われる牌のことで、万が一のときに備え、特に親に対しては安全牌を 一枚持つようにしておきます。

② 相手の役を推測する

相手の捨て牌が中張牌（４～６）が多く出ていたら、チャンタを警戒する。

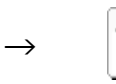
ある種類の牌が捨てられていないときは、混色の可能性が高いので、その種類の牌と字牌を警戒する

早くのうちに、中張牌（４～６）が出て、その後リーチがかかったら、その牌のスジ牌を警戒する。たとえば五萬ならば　二萬、八萬。

③ 相手の待ち牌を推測する（リーチ牌の内側牌は危険牌）

リーチ牌の内側牌は危険牌です。たとえば五萬でリーチをかけてきたときは、四・一，六・九の牌を一応危険牌として気をつける。

たとえば、三萬　五萬というカンチャン待ちでは、なかなかリーチは掛けづらいが、もし二萬を引いてくれば、一萬、四萬待ちとなり、リーチをかけたくなるからです。



でリーチ